

総合教育研究センター

学生向け情報誌

クレードル

第12号

CRADLE

Center for Research And Development of Liberal arts
Education

12th issue

緊急報告！

就職から半年—今春卒業の5人はいま

今年3月に天理大学を卒業し、就職した人たちは半年経った今どうしているだろうか。就活はうまくいったのか、仕事は楽しいか、学生時代に予想した通りの職場なのか。さらに後輩に言いたいことは何か。日本各地に就職した5人の卒業生（すべて女性）にストレートな質問をぶつけてみた。

（構成 伊藤義之：総合教育研究センター）

現在働いている分野は就活のときの**第1希望**でしたか

（旅行関係Aさん）はい。

（事務関係Pさん）いいえ。

（住宅関係Kさん）とくに希望はありませんでした。

（ホテル関係Nさん）第1ではありませんが希望職種ではありました。

（事務関係Uさん）とくに希望はありませんでした。

日々の**業務内容**を教えてください

（旅行関係Aさん）営業、内勤（旅行のコース・見積もり作成、電話対応、カウンターに来たお客様の接客）接客以外が中心で接客はたまに。添乗、最低月に1回。

（事務関係Pさん）資料の作成や、会議の準備、消耗品の買い出し、部屋の掃除など。

（住宅関係Kさん）展示場接客の業務が中心。

**緊急報告！ 就職から半年
—今春卒業の5人はいま
森に生きる2017 報告
心の健康法 9**

p.1
p.7
p.8

CRADLE(クレードル) 第12号 2017年10月発行

発行者 伊藤義之 天理大学 人間学部 総合教育研究センター

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

電話・FAX 0743-63-7092 (内線) 6111

(ホテル関係Nさん) フロントでの接客業務が中心 (しかし私が働いているところはビジネスホテルですので、大きなホテル、またはリゾートホテルとは違い、各セクション等に分かれていないので、フロントスタッフといえど、予約受付・管理、電話対応、事務作業、ちょっとした清掃などオールマイティにします)。

(事務関係Uさん) 電話・訪問者への対応、書類のチェック、掃除、文具・消耗品の管理、予算管理など。

通勤時間はどれくらいですか



(旅行関係Aさん) 25-30分。

(事務関係Pさん) 40分。

(住宅関係Kさん) 20分。

(ホテル関係Nさん) 徒歩で10~15分、自転車で5~10分。

(事務関係Uさん) 自宅から職場までトータルで1時間半くらい。

生活の拠点には変化がありましたか



(旅行関係Aさん) 実家暮らしから一人暮らしに。

(事務関係Pさん) 実家暮らしのまま。

(住宅関係Kさん) 実家暮らしから一人暮らしに。

(ホテル関係Nさん) 実家暮らしから一人暮らしに。

(事務関係Uさん) 実家暮らしのまま。

実家と一人暮らしのメリット、デメリットは何ですか

【一人暮らしのメリット・デメリット】

(旅行関係Aさん) (メリット) 自由がある。家族の大切さが分かる。

(デメリット) 家のことも全て自分でしないとイケない。

(事務関係Pさん) (メリット) 何をするのも自由にできる。(デメリット) 仕事をしながら、家事を全て一人するのが大変そう。食生活が乱れそう。

(住宅関係Kさん) (メリット) 一人で自由。(デメリット) 実家のごはんが食べなくなる。

(ホテル関係Nさん) (メリット) 自由な時間が持てる。自分のしたいことをしたいときに出来る。

(デメリット) 炊事、家事、その他諸々と全て自分でしなければならない。

(事務関係Uさん) (メリット) 身の回りのことをちゃんと自分でこなせる、時間に縛られることがないのでそういう面では気楽というイメージ (デメリット) 仕事が忙しいと食事などが疎かになりそう、実家暮らしに比べ金銭的な面で負担が大きいイメージ。

【実家暮らしのメリット・デメリット】

(旅行関係 A さん) (メリット) 家のことをしてもらえ。話す相手がいる。

(デメリット) 自由がない。

(事務関係 P さん) (メリット) 話し相手がいる。家事をしてもらえ。(デメリット) 一人の時間があまりとれない。

(住宅関係 K さん) (メリット) 話し相手がいる。(デメリット) 一人の時間が作れない。

(ホテル関係 N さん) (メリット) 手作りの温かいご飯がある、家事をしなくていい、家族のサポートを常に受けられる。(デメリット) 家族中心で物事が進むので、自分の思い通りに何かをすることが出来ない、自由がない。

(事務関係 U さん) (メリット) 家事や洗濯など心配する必要がない。家賃や食費など一人暮らしに比べ負担が少ない。(デメリット) 家事などを親に任せがち、ご飯をついつい食べ過ぎてしまう。

就職後、食事に変化はありましたか。どう変わりましたか

(旅行関係 A さん) 残業で帰りが遅いため、ほとんど食べない。食べれる日は食べる…食べてもお菓子か味噌汁を飲むくらい。

(事務関係 P さん) 変化はありません。

(住宅関係 K さん) 自炊をしていないので、コンビニや外食ばかりです。

(ホテル関係 N さん) 自分で食事を作るようになった。しかし忙しい時もあり、自炊と外食や買ったものを交互に食べている。また、ホテルは完全シフト制なので、深夜まで働くこと食生活のリズムが崩れた。

(事務関係 U さん) 以前からよく食べる方でしたが、以前よりも食欲が増したなど感じることは度々あります(笑)。でも年のせいか、学生の頃みたいにあまり脂っこいものとか勢い余って食べていたものを沢山食べられなくなりましたし、運動不足すぎて本当に体力が落ちました(笑)。最近では少し健康のことを考え、普段の食生活に気をを使うようにしています。

学生時代の予想と比べて実際の仕事はどうですか

<a. 予想より楽 b. 予想していた通り c. 予想より大変 d. 予想よりずっと大変>

(旅行関係 A さん) d.

(事務関係 P さん) c.

(住宅関係 K さん) c.

(ホテル関係 N さん) d.

(事務関係 U さん) c.



仕事をしてきてためになったことは何ですか

(旅行関係 A さん) ・社会人としてのマナーが身についた。また、今後も活かせる。ex)お客様や取引先との話し方、電話対応、納期を守るなど。

・色々な仕事内容を通して度胸がついた。ex) 相見積もりのときのプレゼンや添乗でバスの前で話したり、1人でたくさんのお客様を旅行に連れて行ったりして精神力が強くなった。色々なお客様(無理難題言うとか理不尽な人とか)や上司と関わることで…。



(事務関係Pさん) 目上の人とのコミュニケーションの取り方、電話対応の仕方、パソコンスキル (Word、Excel)の向上。

(住宅関係Kさん) お客様第一の気持ち。

(ホテル関係Nさん) ・接客業務が中心なので、対話能力が高くなった。

- ・丁寧な言葉遣いに気を配るようになった。
- ・ビジネスホテルなので客層も様々ということもあり、人を見る目が学生の頃よりかなり養われたと思う (例えとして、あまりいい表現ではないが、クレーマーやアルコール依存症気味の人、さらには風俗嬢など)。
- ・お客様に満足して頂くことが目的のサービス業ではあるが、お客様の過剰な要求、クレーム等にはホテルの方針に則りお客様にきちんと納得してもらうように毅然とした態度で接する力も。
- ・このような業務は、日本人、外国人に関わらず全てのお客様に共通で行なっているの、どんな人物がやって来ても対応する柔軟性。
- ・トラブルに瞬時に対応する機敏な思考力…



以上、仕事上ためになる、ためになったことの一部です (笑)。

(事務関係Uさん) 学生の頃と違って社会人になると様々な方とのコミュニケーションが増えます。私の場合だと、教職員の方、様々な企業の方々などとお話をする機会がありますが、敬語の使い方や、メールのやり取りに関してなど、普段の仕事において色々と勉強になることが多く、身につくことはたくさんあります。また動画編集などを行ったり、今までなかなか経験したことがなかったような作業も、初めは少し大変ですが使いこなせるようになると楽しいです。

今の仕事を長く続けようと思いますか

<a. 続ける b. 多分続ける c. 多分続けない d. すでに転職を考えている>



- (旅行関係Aさん) d.
 (事務関係Pさん) d.
 (住宅関係Kさん) b.
 (ホテル関係Nさん) c.
 (事務関係Uさん) d.

今後の人生設計をどのように考えていますか

<a. キャリアウーマン b. 専業主婦 c. 未定 d. その他>

(旅行関係Aさん) d. (お金を貯めてワーキングホリデーに行きたい。)

(事務関係Pさん) c.

(住宅関係Kさん) b.

(ホテル関係Nさん) d. (ある程度は今の仕事を続けますが、ホテル業務から運営に携わりたいとは思ってます。その後、ホテル業のスキルを満遍なく身につけることができたら、仕事を辞め、もう一度学校に復学したいと思っています (大学院、または海外に留学)。)

(事務関係Uさん) d. (キャリアウーマンになりたいという願望もあることはありますが、まずは海外に行ってみたり多くのものを見て感じて色々な経験をし、やりがいを感じ

じられる仕事に就きたいです。また、自分のしたいことをして陽気に楽しく過ごしたいです。)

就活中や就活を始めようとしている後輩達にアドバイス

(旅行関係 A さん) ・大学の 4 年間で色々なことを経験して就活で活かして欲しい。←面接やエントリーシートに役立つから

- ・説明会で話してる内容とは違って実際に入社してみると違ってギャップを感じることもある。ギャップを無くすためにも会社の分析はしっかりした方が良い。 ex) OB, OG 訪問、インターンシップなど
- ・自分が納得いくまで就活をして欲しい。周りが決まっても焦らず自分のペースで就活をして欲しい。
- ・希望の職種があるならとことん頑張っけて受けて後悔のない就活をして欲しい。←希望職種でも失敗することはある…笑

(事務関係 P さん) 自分が動き出さないと始まらないので、説明会やセミナー、会社訪問などはどんどん行った方がいいと思う。好きな職業や、就きたかった職種に就けたとしても、やっていくうちに嫌なこと(苦手な人との付き合いや、やりたくない仕事内容など)は必ずでてくるとし、逆にあまり興味のなかった職業や、なんとなく成り行きで就いた職種でも、やっているうちに、やりがいや、その仕事の好きな部分が見つかったりするものだと思うので、単純に好き嫌いだけで仕事を決めるのではなく、そういったこともふまえたうえで、自分としっかり向き合っけて、自分の納得いく結果が得られるまで諦めずに頑張っけてほしい。

(住宅関係 K さん) やるからには上を目指して頑張っけています。努力すれば周りの人は見てくれて、応援してくれると思います。なので、就活も入社してからも、自分を信じてやるしかないと思います！

(ホテル関係 N さん) 就活面においては、採用の段階でしっかりと自己アピールをすることです。また、自分の将来像をきっちりと描けていることも重要なので、自分は何をしたいのか、何になりたいのか、どのようになってくのか、こういった過程をしっかりと描いてると、目的意識が持てるので、仕事上でもプライベート上でも良いことだと思います。あとは、実際仕事をしてみると、理想と現実の違いに落胆することもあるだろうし、こんなことをやりたかったわけじゃないと思うことも多々あると思うので、プライドをある程度捨てる覚悟はしておくことも重要だと思います。どんな仕事でも、それが業務内容ならしなくてはなりません



(当たり前ですが、詐欺やいかがわしいことなどの法に触れる事でない範囲です)。ついでに言うと、掃除をするということはかなり大事なことなので、みんなには掃除してもらいたいです！(笑) めっちゃ個人的な意見ですが…かなり嫌な仕事なんですけど…(笑) ボランティアとか、掃除って結構色んなことに気づくので…大切な行動だと思って…(笑)

(事務関係Uさん) 実際のところ私は就活をしていません。なので、私が就活生にどうこうと言える立場ではありませんが、大学を卒業し今働いてみて思うことは色々あります。人生は本当にあつという間で、私も今年で 23 歳になります。確かに若い頃のようには何事もうまくいかないかもしれませんが、みなさんには年齢というものに縛られることなく自分の追い求めているものを目指し突き進んでいってほしいと思います。必ずしも一本のレールに沿った仕事や人生を歩む必要はなくて、時にはその道から外れてみることもありだと思ったり、これからまだまだ色んな事をしたいと思う時が来るかもしれません。それは私も同様で、まずはもっと色々な経験をして学んでいきたいなと思います。でも今すごく感じるのがいざ社会に出てみれば、自分の想像以上に大変だと思うことばかりだということです。もしある程度こんな職業に就きたいとか大まかに考えている人や、もう決まっている人は、事前にその職業に関して勉強してみたり、様々なビジネスマナーなどを知っておくと損はないかと思います。学生の頃に得たものは今後人生において大きな宝になると思いますし、大学生だからこそ今できることはたくさんあります。色々な経験をしてみましょう。



森に生きる報告

2017年の「森に生きる」に台風直撃！

伊藤義之（総合教育研究センター）

「森に生きる」は毎年、夏の5日間を吉野の森で過ごすプログラムです。世間の雑音を離れ夏の暑さを離れ、静かな別天地で4泊5日を過ごすのが通例ですが、今年はそれができませんでした。ちょうど予定していた時期に大型の台風がまさに奈良を直撃したからです。

「森に生きる」の実施は毎年曜日に関係なく「こどもおぢばがえり」が終わる8月6日からお盆連休にさしかかる前の10日までと決まっています。

ところが今年は、出発一週間ぐらい前から、合宿二日目にあたる7日に大型の台風が近畿地方を直撃するという予報が出されました。何とかそれてくれないかとぎりぎりまで待ってみましたが、予報は的中することとなり、結局は出発直前になって出発を二日延期。8月8日出発となりました。下山予定日は変えられないため、今年の合宿は2泊3日のコンパクト版となってしまいました。

今回参加した学生は10人。うち一人は他大学の大学院で林業や山村の発展を学ぶ院生でした。教員は引率担当の3人以外に今年は体育学部の蓬田先生が参加し、そのほか元職員とその家族、合宿最後には卒業生も駆けつけ、短くも賑やかな開催となりました。

台風が去った後の森は湿り気が多く滑りやすくなっていましたが、みな指導員のもと、協力し合いながら木を伐ったり丸太を作ったり枝打ちをしたりして汗を流しました。台風直撃のためショートバージョンになってしまい、参加者は物足りなさを感じ「来年こそは」とリベンジを誓い合うのでした。なお、合宿期間が短くなってしまった分を補うために、予定に入れていなかった事後研修を11月に行います。



心の健康法9

いま、そこであなたにできることをやりましょう。

仲 淳（総合教育研究センター教職課程 准教授 臨床心理士）

みなさんには、夢や目標がありますか？

「〇〇がしたい！」「〇〇になりたい！」「〇〇に行きたい！」・・・。きっと人それぞれにやりたいことやなりたいもの、行ってみたいところなどがあることでしょう。

では、その夢や目標に近づくためには、いったいどうすればいいのでしょうか？

現実には、いろいろ思い通りにならない事情や障壁（かべ）などがあって、夢の実現というのはなかなかむずかしいところがありますよね。いくらがんばってもなかなか成果が出ず、悔しい思いをすることもあると思いますし、まわりを見回してみるとスイスイと進んでいる人がいるような気がして、焦ってしまうこともあると思います。「こんな自分はダメだな。。。」「こんな自分はもうイヤだ。。。」と落ち込んでしまうこともあるでしょう。

でもわたしたちというのは、いついかなるときでも、「いま、ここにいる自分自身」というものしか生きることができません。「ここではないどこかにいるスゴイわたし」というのは、まさに夢の中にいる自分なのであって、いま、ここにはいませんし、残念ながら世界中のどこを探しても、「このわたしに代わってわたしを生きてくれるだれか」はいないのです。

どんなにかっこ悪くても、失敗していても、どん詰まっても、それはわたしだけが生きることのできる、わたしにしか生きられない、「唯一かけがえのない大切なわたし」です。この「いまのわたし以外のわたし」というものは、この世に存在しないのです。

夢や目標、理想というものは、「いま、ここ」ではない未来や、「いま、ここ」とは少し離れた場所にあったりするものです。それは人を先へと導くとても大切なイメージなのですが、あまりにそれにとらわれてしまうと、「現在いま、ここにいるこのわたし」を否定することになってしまい、「二度とない、いま、この瞬間の真ん中」に入り込んで、「いまのいまを生きているこのわたし」を丸ごと生きることができなくなってしまいます。

「いま、そこであなたにできること」をやりましょう！

大きなことでなくて、かまいません。たとえうまくいなくても、いいのです。「いま、ここで、いまの自分にできること」こそが、「いま、わたしにできる BEST」なのですから。。。

その小さな積み重ねの果てに、ふと気がつけばいつの間にか夢の扉は開いていて、なにかに夢中になっている。すでに自分は「夢の中」にいる。そんなふうでありたいものですね。

